

阿闍梨讚琉カ荒野寄進状

【原文】

奉寄進荒野事

合一所者、在所堀越、四至本文書アリ

右件荒野者上神田大河

先祖私領也、(雖然カ)米三十石二

買取、石峯寺鎮守ニ奉

者也、仍為後日状如件、

永和四年三月廿一日

阿闍梨讚琉(カ)(花押)

【読み下し】

寄進奉る荒野の事

合わせて一所てへり。在所堀越。四至本文書にあり。

右くだんの荒野は上神田大河先祖私領也。然し
りと雖も米三十石に買い取り、石峯寺鎮守に
「 奉るもの也、仍つて後日のための
状、くだんの如し。

永和四年三月廿一日

阿闍梨讚琉(あじゃり)(花押(かおう))

【現代語訳】

寄進奉る荒野のこと

合わせて一ヶ所である。所在地は堀越。土地の四方の範囲は本証文の方にあり。

右記のくだんの荒野は、上神田の大河の先祖以来の私領である。しかし、米三十石で（私が）買い取り、石峯寺鎮守に（寄進）奉るものである。よつて後日のための証文はこのとおりである。

永和四年三月二十一日

阿闍梨讚琉（花押）